施工説明書

INAX

サーモスタット付シャワーバス水栓

一般地用
BF-8745TL-PU
BF-8745TR-PU

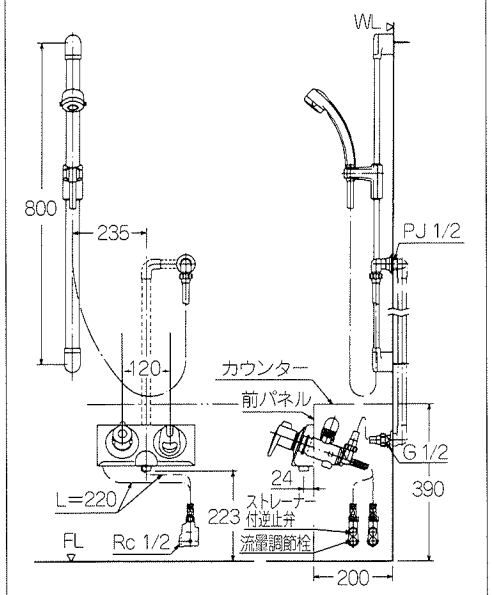
寒冷地用
BF-8745TNL-PU
BF-8745TNR-PU

旧

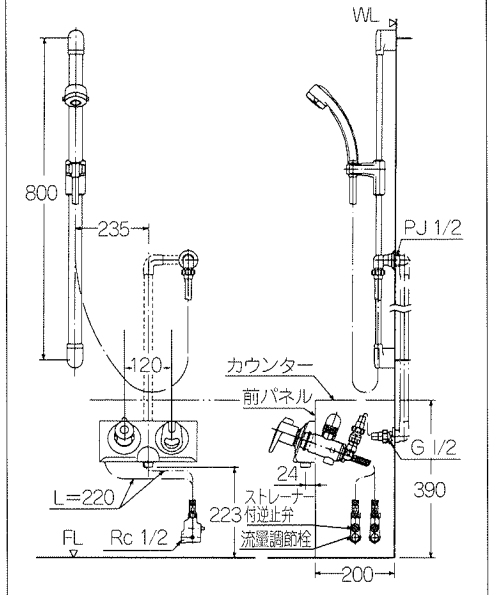
商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れてお客さまにお渡しください。

●施工完了図

一般地用
BF-8745TR-PU



寒冷地用
BF-8745TNR-PU



※BF-8745TL-PU、BF-8745TNL-PUはL＝330となります。

●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

⚠ 注　意
湯水を逆に配管しないでください。 ※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。
お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。寒冷地仕様の水抜方法は、取扱説明書を参照ください。 ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

●使用条件

●給水・給湯圧力は以下の条件を守ってください。
〔ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合〕
給水圧力｛最低必要圧力……A＋0.10MPa {1kgf/㎠}
　　｛最高圧力……0.59MPa {6kgf/㎠}
●測定条件
※開閉ハンドルは全開です。
※ガス給湯器との組合わせ条件が最も悪い冬期条件（給水温度5℃、吐出温度42℃）によるものです。
※給水圧力はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。
※ガス給湯器の温度調節は最高温度設定です。
〔貯湯式温水器と組み合わせる場合〕
給水・給湯｛最低必要圧力……0.05MPa {0.5kgf/㎠}
　　｛最高圧力……0.59MPa {6kgf/㎠}

●温度調節が容易で使い勝手をよくするために、給水圧力は給湯圧力より高圧か、または同圧となるようにしてください。
●給水圧力が0.59MPa {6kgf/㎠} を超える場合は、市販減圧弁等で適正圧力（0.20～0.39MPa {2～4kgf/㎠} 程度）に減圧してください。
●給湯温度は使用する最高温度より約10℃高く設定してください。
●給湯に蒸気は使用できません。

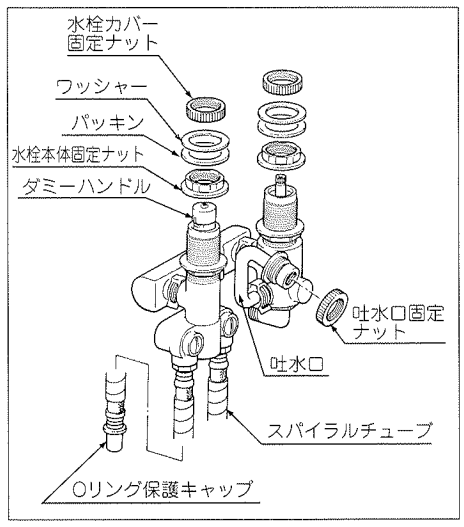
●施工前のご注意

●給水は上水道に接続してください。
※温泉水などの異物を多く含む水には使用できません。
●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
※逆配管では表示通り湯が出ません。
●給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
●商品の表面には直接工具を掛けないでください。
※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
●開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分注意してください。
●取付後の保守点検のために必ず点検口を設けてください。
●必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。

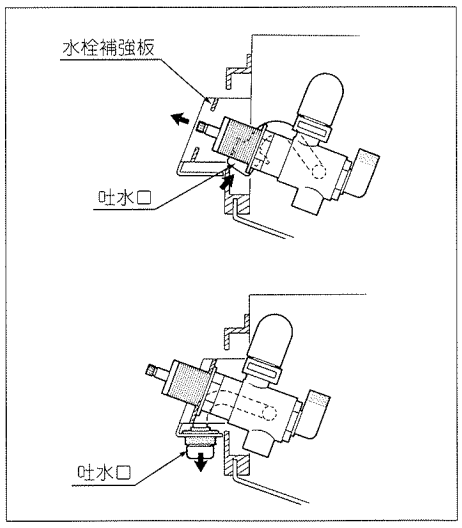
●施工方法

1. 水栓の固定

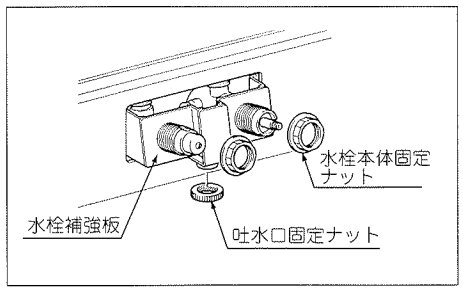
(1)水栓に付いている水栓カバー固定ナット、ワッシャー、パッキン、水栓本体固定ナット、吐水口固定ナットを取り外します。
※Oリング保護キャップは逆止弁ソケットと接続するまで取り外さないでください。
※スパイラルチューブは給水・給湯ホースを保護するために付いています。取付後も外さないでください。
※ダミーハンドルは温度調節ハンドルを取り付けるまで外さないでください。ダミーハンドルを外しますと温度設定が合わなくなります。



(2)水栓本体及び吐水口を水栓補強板の取付穴にそれぞれ挿入します。
※吐水口は上下に回転できます。



(3)水栓補強板に、水栓本体固定ナットを工具で、吐水口固定ナットを手締めでしっかりと固定します。
※がたつきのないようにしっかりと締め付けてください。

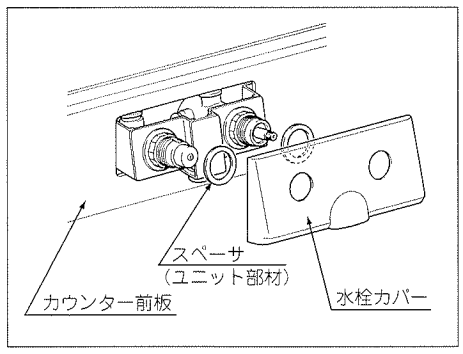


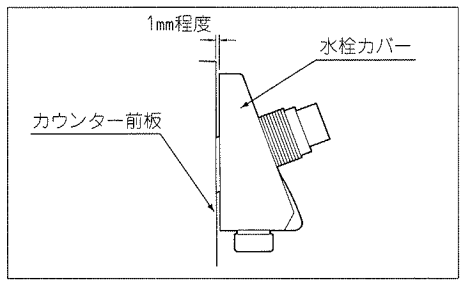
株式会社INAX

本社　☎0569-35-2700
横浜支社　☎045-242-1710
甲信支社　☎0263-36-2166
京滋支社　☎075-222-1794
札幌支社　☎011-271-1701
千葉支社　☎043-227-8171
名古屋支社　☎052-201-1717
広島支社　☎082-223-1710
東北支社　☎022-263-1710
埼玉支社　☎048-668-1177
静岡支社　☎054-251-1710
四国支社　☎0878-21-1701
東京支社　☎03-5541-7111
東関東支社　☎028-637-3379
北陸支社　☎0762-64-1710
福岡支社　☎092-282-3151
西東京支社　☎0425-27-3341
関越支社　☎0273-27-1793
大阪支社　☎ 06-539-3500
南九州支社　☎096-322-1794

(4)ユニットに付属のスペーサを使って水栓カバーとカウンター前板とのすき間が1㎜程度となるように調節してください。

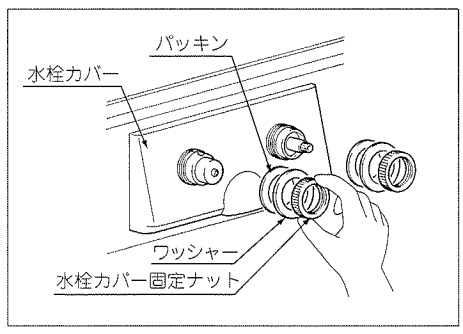
※水栓カバーとカウンター前板が密着すると水栓カバーに無理な力がかかり割れる場合があります。





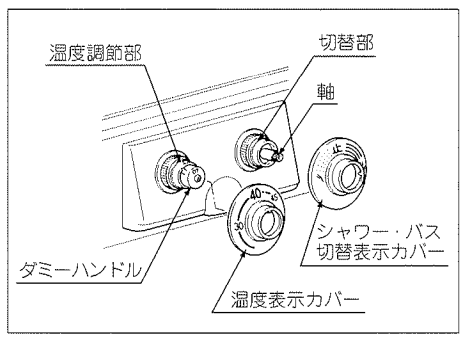
(5)パッキン、ワッシャー、水栓カバー固定ナットで水栓カバーを手締めで固定します。

※工具で締めると水栓カバーに無理な力がかかり割れる場合があります。



2. 表示カバーの取付け

温度調節部に温度表示カバー、切替部にシャワー・バス切替表示カバーをそれぞれ『40』『止』の表示が上になるように凹凸部を合わせてはめ込みます。

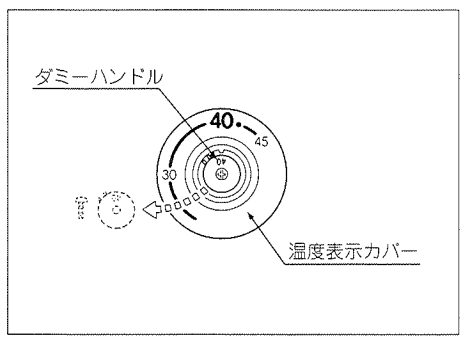


3. 温度調節ハンドルの取付け

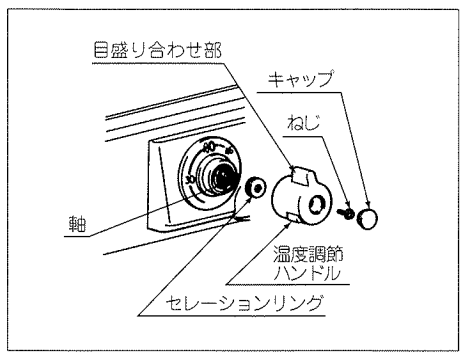
(1)ダミーハンドルの『40』を温度表示カバーの『40』に合わせ、位置がずれないようにダミーハンドルを外します。

※位置がずれると温度設定が合わなくなります。

※外したダミーハンドルと止めネジは不要になります。ダミーハンドルの下にはあらかじめセレーションリングが付いていますので、ダミーハンドルと一緒に捨てないように注意してください。



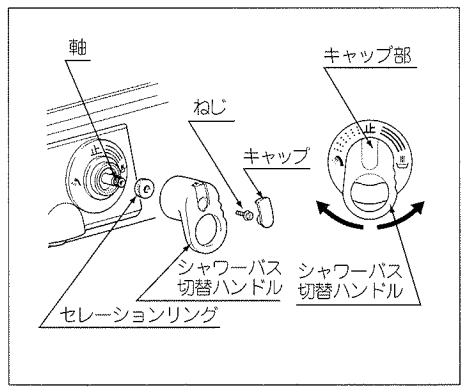
(2)温度調節部の軸にセレーションリングをはめた後、温度調節ハンドルの目盛り合わせ部が温度表示カバーの『40』に合うように温度調節ハンドルをはめ込み、ねじとキャップを取り付けます。



4. シャワー・バス切替ハンドルの取付け

切替部の軸にセレーションリングをはめ、軸を左右に回し『カチッ！』と音のするところで、シャワー・バス切替ハンドルのキャップ部（白色）が『止』に合うようにはめ込み、ねじとキャップを取り付けます。

※取付後ハンドルを左右に回し、それぞれ90°ずつ回転することを確認してください。



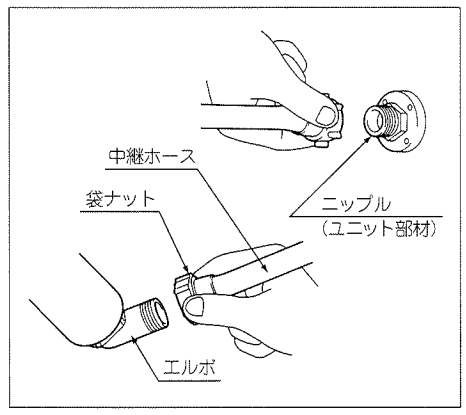
5. 中継ホースの接続

〔BF-8745TL(R)-PUの場合〕

中継ホースの片方を水栓本体のエルボに、もう片方をユニット壁面のニップルに手締めでしっかりと固定します。

※工具を使用すると中継ホースの袋ナットにキズが付く恐れがあります。

※中継ホースの袋ナット内にパッキンが装着されていることを確認した上で接続してください。



〔BF-8745TNL(R)-PUの場合〕

(1)カプラーの保護キャップを外し、水栓本体のエルボに、『カチッ！』と音がするまでしっかりと差し込みます。

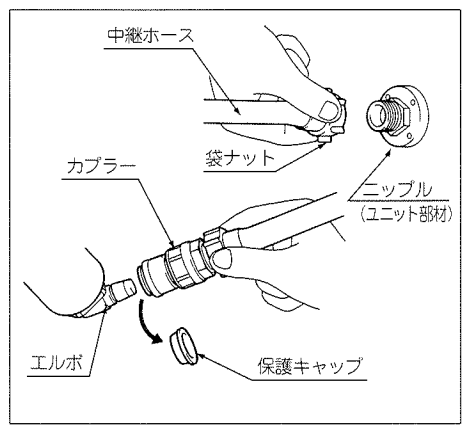
(2)もう片方をユニット壁面のニップルに手締めでしっかりと固定します。

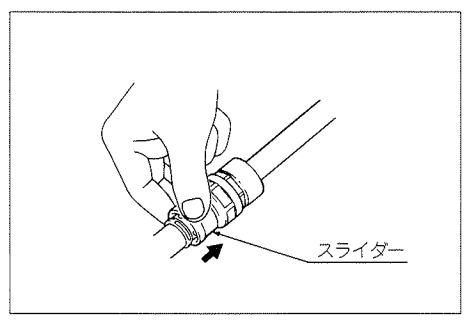
※ホースを軽く引張り、確実に接続されていることを確認してください。

※カプラーを取り外すときはスライダーを下げながら引張ってください。

※工具を使用すると中継ホースの袋ナットにキズが付く恐れがあります。

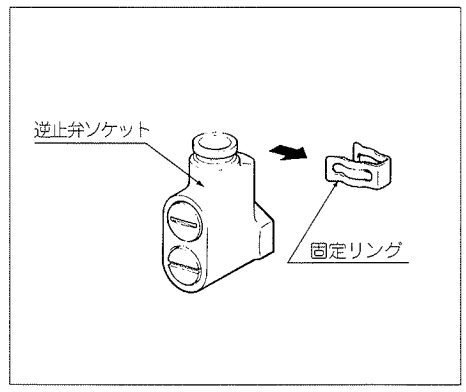
※中継ホースの袋ナット内にパッキンが装着されていることを確認した上で接続してください。





6. 給水・給湯ホースと止水栓の接続

(1)逆止弁ソケットに付いている固定リングを外します。

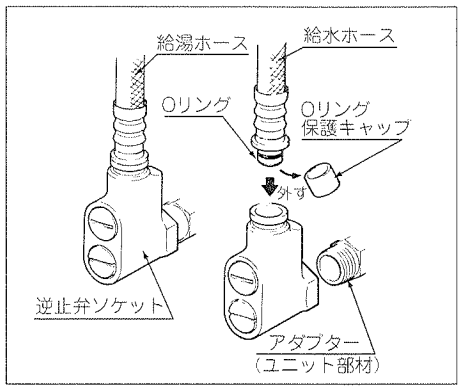


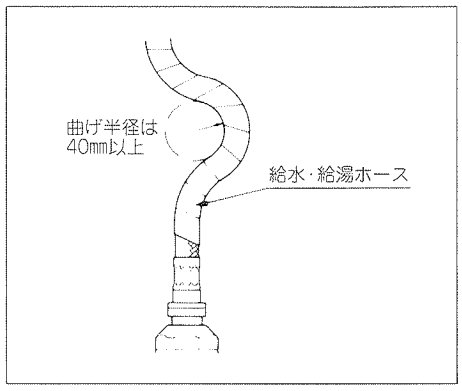
(2)逆止弁ソケットをユニット付属のアダプターに接続後、給水・給湯ホースのOリング保護キャップを取り外し、逆止弁ソケットに差し込みます。

※Oリングに傷をつけたり、ゴミかみをさせないように注意してください。漏水の原因となります。

※給水・給湯ホースを曲げる場合は、曲げ半径を40㎜以上確保してください。
無理に曲げるとホースが損傷し、漏水の原因になります。

※逆止弁ソケットをアダプターに接続する際はシールテープでシールしてください。

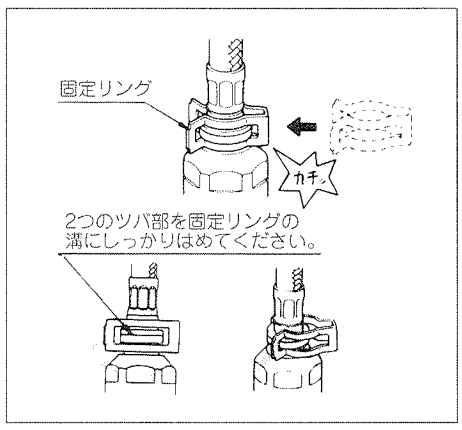




(3)固定リングを給水・給湯ホースと逆止弁ソケットの接続部（ツバ部）にはめ込みます。

※誤って取り付けると漏水の原因となりますので、確実にはめ込んでください。

※給水・給湯ホースを軽く引張り、確実に接続されていることを確認してください。



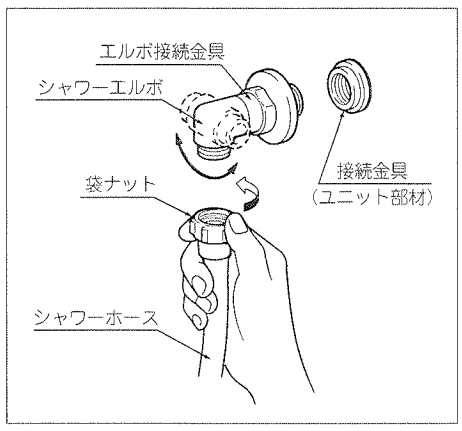
7. シャワーホースの接続

(1)ユニット壁面の接続金具にエルボ接続金具を固定します。

※接続する際、シールテープでシールしてください。

(2)シャワーエルボをエルボ接続金具に軽くねじ込んだ後、シャワーエルボを下方180° 可動となる範囲まで1回転以内で戻します。

※シャワーエルボを戻しすぎると漏水またはエルボの脱落の原因となります。



(3)シャワーホースとシャワーエルボの接続は手締めでしっかりと固定します。

※工具を使用すると、シャワーホースの袋ナットがキズつく恐れがあります。

※シャワーホースの袋ナット内にパッキンが装着されていることを確認した上で接続してください。

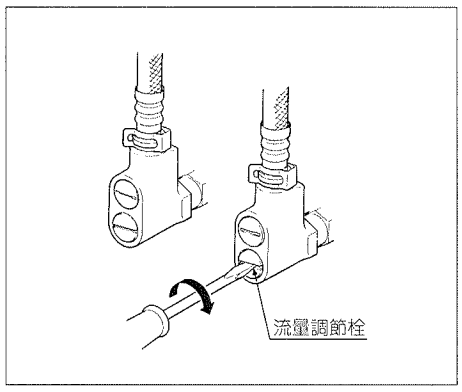
●施工後の調節

●流量の調節

水栓の機能を充分に発揮させるため、水圧が0.20MPa {2kgf/㎠} を越える場合は水側の流量調節栓を次の要領で調節してください。

1. 温度調節ハンドルを水側（青色）いっぱいに回し吐水口側で全開にします。

2. 流量が20L／分程度（洗面器一杯にするのに約10秒弱）になるように流量調節栓で調節します。



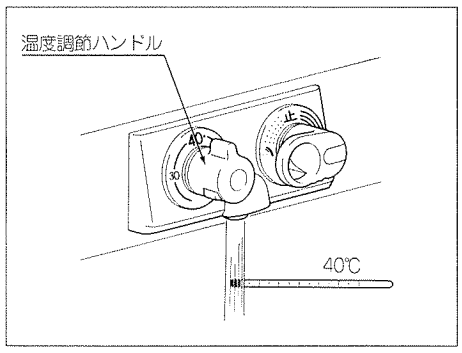
●温度調節

温度調節ハンドルの示す温度と吐出温度が合わなくなった場合は、次の要領で調節してください。

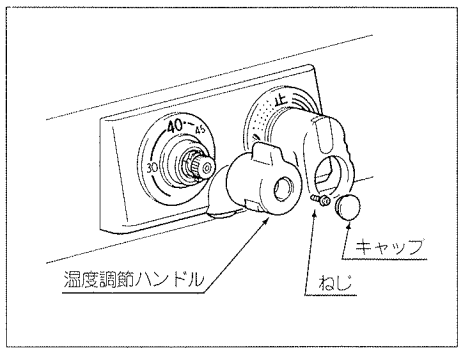
1. 調節の前に次のことを確認します。
(1)湯側と水側の流量調節栓が十分開いていますか？
(2)湯側と水側のストレーナーは詰まっていませんか？
(3)使用する温度より10℃以上高い温度のお湯がきていますか？

2. 調節手順

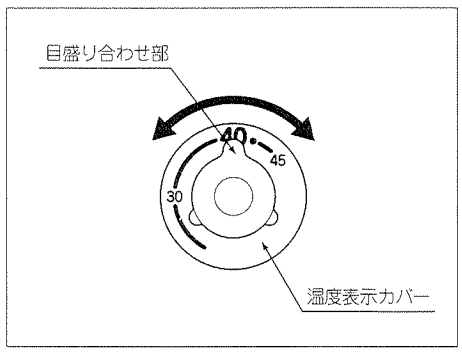
(1)吐水口側で全開吐出し、湯の温度が温度目盛に関係なく40℃になるように温度調節ハンドルを回します。



(2)吐出温度が40℃になったところで止水し、温度調節ハンドルが回転しないように注意して、キャップ、ねじを外し、温度調節ハンドルを抜き取ります。



(3)抜き取った温度調節ハンドルの目盛り合わせ部が温度表示カバーの「40」に合うように温度調節ハンドルをはめてねじを締め、キャップをはめ込みます。



●引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

●故障と点検

※点検箇所は右図を参照してください。

現　象	点検内容	点検箇所	処　置
流量が少ない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照。
	配管途中に大きな抵抗はないか？		抵抗となる障害物を取り除く。
	ストレーナーにゴミ詰まりはないか？	①⑤	ゴミ等を水で洗い流す。
	流量調節栓は十分開いているか？	②	流量調節栓を十分開く。
	整流網にゴミ詰まりはないか？	③	ゴミ等を水で洗い流す。
水が止まらない	ゴミかみはないか？	④	ゴミ等を水で洗い流す。
	キズはないか？	④	キズがあれば部品を交換する。
湯水の逆流がある	逆止弁は正常か？ （ゴミ、砂かみは？） （Oリング、シートにキズは？）	①	ゴミ等を水で洗い流す。 キズがあれば部品を交交換する。
希望の温度が得られない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照。
	ストレーナーにゴミ詰まりはないか？	①	ゴミ等を水で洗い流す。
	温度調節はよいか？	⑥	「温度調節」の項参照。
	温調カートリッジは働いているか？	⑦	「機能検査」の項参照。
	流量調節はよいか？	②	「流量調節」の項参照。

●機能検査

(1)シャワー・バス切替ハンドルを吐水口側で全開する。

(2)温度調節ハンドル⑥を「40」に合わせる。

(3)流量調節栓②の水側のみを閉める。

※この時吐出がほとんど停止すれば機能は正常です。

※吐出が止まらずそのままであれば温調カートリッジの故障ですから取替えが必要です。

(4)流量調節栓②の湯側のみを閉める。

※この時吐出がほとんど停止すれば機能は正常です。

※吐出が止まらずそのままであれば温調カートリッジの故障ですから取替えが必要です。